

# 生涯熟達の基礎をつくる幼児教育のあり方 ～学び続ける社会づくり先進県への道～

慶應義塾大学環境情報学部  
今井むつみ

[imai@sfc.keio.ac.jp](mailto:imai@sfc.keio.ac.jp)

<http://cogpsy.sfc.keio.ac.jp/imailab/>

# Q

## 就学後の学びの礎になる知識とは？

---

- 字が読めること？
- 字を書けること？
- 計算ができること？
- 日本の県の名前を言えること？
- いろいろな国の名前を言えること？

A

考  
え  
る  
力

これからの「学力」とは

考える力

=

情報処理能力

+

推論力

+

問題解決力

情報処理能力＋推論力＋問題解決力  
＝考える力（実行機能）

複雑な課題の遂行の際に  
思考や行動を制御する認知システム

- \* 本来の目的に立ち返り  
解決策を考える
- \* 新しい行動パターンを覚え、  
状況に合わせて行動を最適化する



人間の目標志向的な行動を支える

# 「考える力」はすべての能力の背後にある



読み、書き・計算など

Blaire & Razza, 2007



他者の意図理論の理解度

Carlson & Moses, 2001



感情を制御する力

Carlson & Wang, 2007



社会的スキルの習得

Clark et al., 2002

子どもの認知構造と相互的に関係している

# 考える力

=

**情報処理能力**

+

推論力

+

問題解決力

Stanford Report, September 25, 2013

# Language gap between rich and poor children begins in infancy, Stanford psychologists find

社会経済的地位 (SES) が低い家庭の子どもは2歳の時点で、SESが高い家庭の子どもに比べ言語発達が6ヶ月遅れる。

—スタンフォードニュース

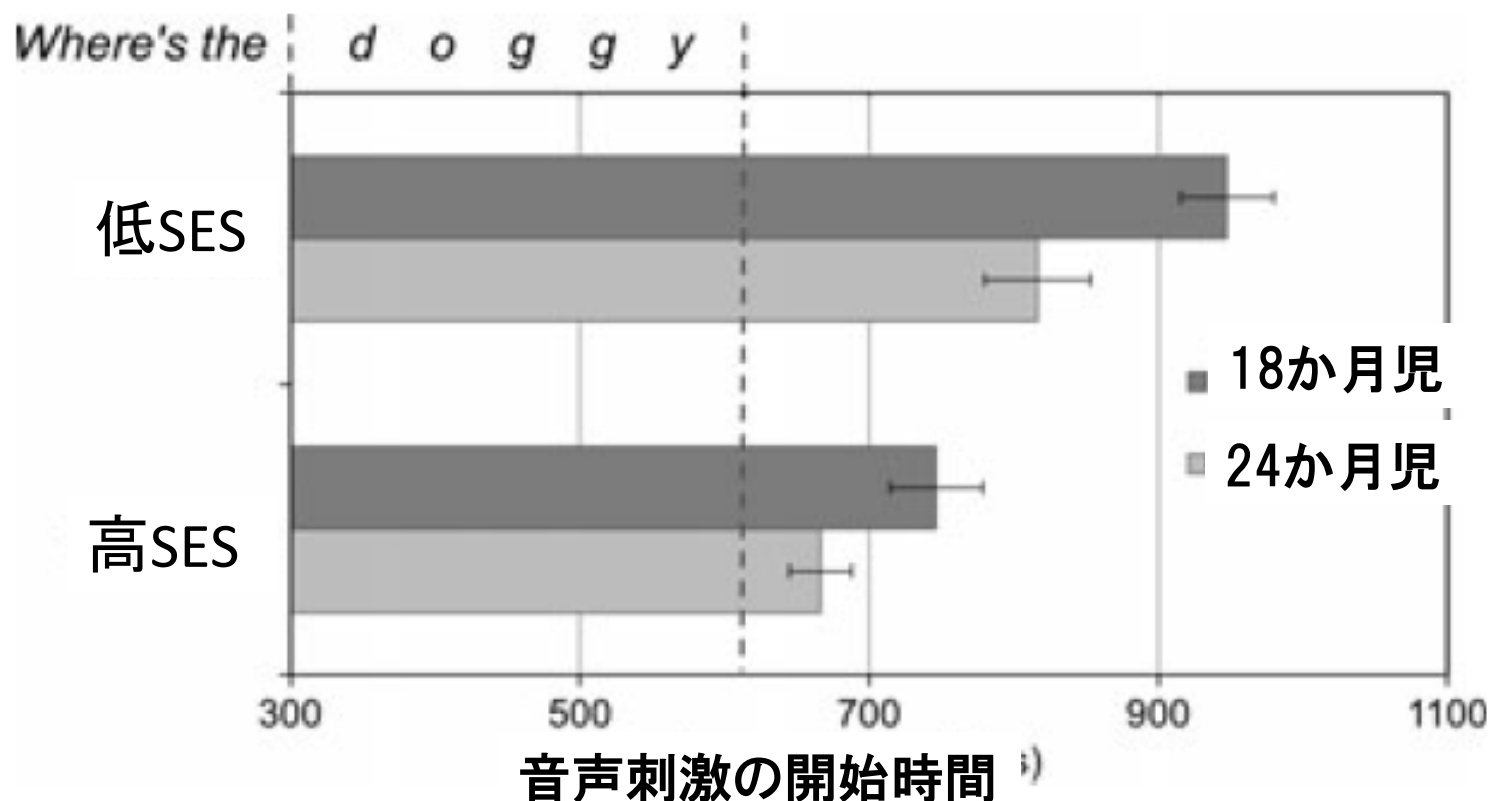
2歳の時点で、SESの低さが、**語彙数**や**ことばの情報処理の正確さ・速さ**などにおいて、6か月近い遅れを生んでいる。

Camera





# ことばの対象を探すまでの時間・・・情報処理スピード



18か月時点から24か月時点で反応時間は100mほど早くなっている。

しかし、それぞれの月齢において、高SES群は低SES群よりも反応時間が早い。

# 考える力

=

情報処理能力

+

**推論力**

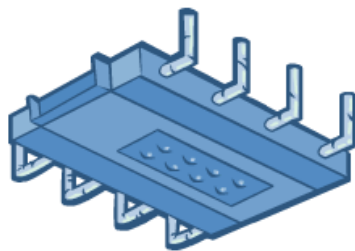
+

問題解決力

# 新しいことばの意味を推論する 能力の経済格差



フェップは青いの。  
フェップを探して



低所得家庭の子どもは高所得家庭の子どもに比べ、知らない単語の意味の推論が苦手

# 考える力

=

情報処理能力

+

推論力

+

**問題解決力**

# 子どもの**自立的問題解決**を促すことばかりは 子どもの「考える力」の発達を促す

(Bernier, Carlson, & Whipple, 2010)

\* 母親へのインタビュー/アンケート

\* 10分間母子で自由に遊ぶ様子の録画



2つの難しいパズルを一緒に解かせた上で、どのような会話で子どもをサポートしているかコーディング。特に注目するのは「自立して問題解決するための支援」

## Autonomy Support


- A. 子供が新しい挑戦を出来るように立ち回る
- B. ヒントを与えたり励ましたりする
- C. 同じ視点に立って課題に集中させる
- D. 子供に合わせて選択する機会を増やす

12ヶ月

15ヶ月

18ヶ月

26ヶ月



12か月時、18か月時ときの  
「**自立的問題解決への支援**」のことばかけが  
26か月時の「考える力」に影響

RESCUE

# 親への介入で親の意識を変えれば 経済格差による学力差は埋められる！

## Habla conmigo! (Talk with me!)プログラム

スペイン語話者の低所得家庭の母親を対象に、  
子どもとのかかわり方や脳の発達についての教育を行う。



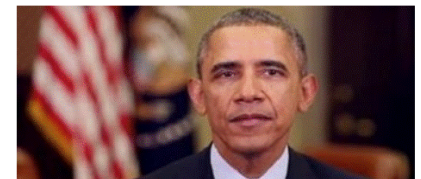
Gigliola Perez and her daughter, Jaime, work to develop early language skills with Nereyda Hurtado, director of the Habla Conmigo! program developed by Stanford psychology Professor Anne Fernald. (L.A. Cicero)

Stanford Report, November 5, 2014

Parents can help toddlers with slow language skills catch up, Stanford psychologist says

「生後3年の間、低SESの子どもが聞く単語の数は、高SESの子どもに比べて3000万語も少ないことがわかった。より多くの子どもたちが、就学前の質の高い、またその他の初期学習プログラムに接せられるよう、そして、保護者が子どもの達成を助けるのに必要な手段を手に入れられるようにすることで、子どもたちにより良いキャリア、より良い暮らしを与えられるだろう。」

## オバマ大統領スピーチ



President Barack Obama

"We know that right now during the first three years of life, a child born into a low-income family hears 30 million fewer words than a child born into a well-off family. By giving more of our kids access to high-quality pre-school and other early learning programs, and by helping parents get the tools they need to help their kids succeed, we can give those kids a better shot at the career they are capable of, and a life that will make us all better off."

-President Obama

# RESULT –成果

## 親の変化

介入前(1歳半時点): 介入群と比較群で、親の行動や子どもの言語能力に違いはない。

2歳時点: 介入群では子どもに向けた発話が25%増加。対して、比較群では8%のみ。

## 子どもの変化

2歳時点で、介入群の子どものほうが、言語課題でより高い成績を示した。

# 1歳半、2歳時点の違いは 放置すればさらに学力差の違いを生む

- ・2歳時点での言語処理の速さは、同時期の語彙の成長と強い関連  
(Fernald ら、2006)
- ・2歳時点での言語課題の成績が、6年後の言語能力と相関  
(Marchman & Fernald, 2008)



# アメリカの 先端事例

キャシー・ハーシュ＝パセック教授の活動



ABLE 2016 December

# PLAYFUL & ACTIVE

ABLE 2016 December

PLAYFUL & ACTIVE に学ぶ

2016.12.11 SUN 12:30 open  
19:30 close

株式会社 内田洋行東京本社 エビスタ協創広場 CANVAS 2F

参加費用・申し込み  
一般 ¥4,000 学生 ¥2,000



ゲスト登壇者

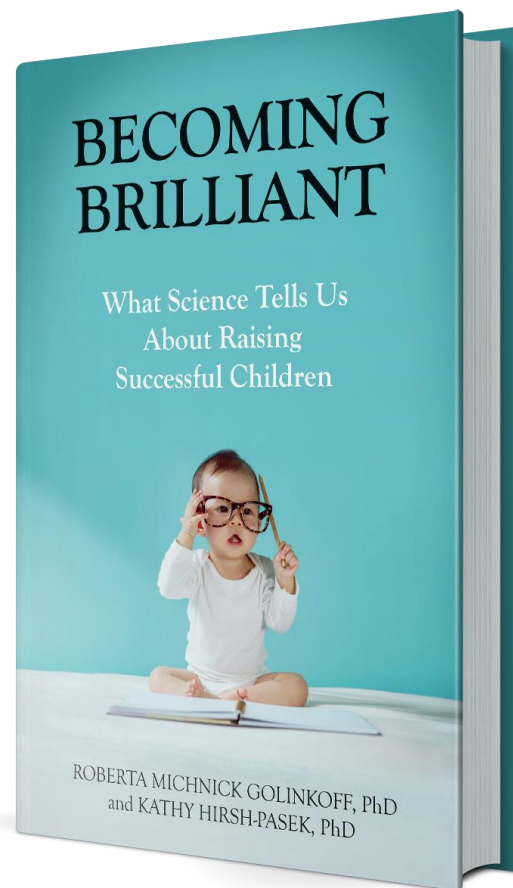
キャシー・ハーシュ＝パセック 教授  
Kathy Hirsh-Pasek  
テンブル大学教授  
ブルッキングス研究所シニアフェロー

ヒメサユリ 花言葉: 好奇心

ABLE事務局 [able\\_jimdok@nifty.com](mailto:able_jimdok@nifty.com)  
<http://cogpsy.sfc.keio.ac.jp/able/>



テンブル大学心理学部教授、ブルッキングス研究所シニアフェローのキャシー・ハーシュ＝パセック教授が提唱する「6Csモデル」は、ラーニング・コンテンツを作るときのチェック指標であり、これに準じて、よりアクティブで効果的なコンテンツを生み出していきます。



# これからの子どもに必要なのは6Cの能力 (6Cのすべてを「考える力」が下支え)



Collaboration



Communication



Content



Critical Thinking



Creative Innovation



Confidence

LEVEL	Collaboration	Communication	Content	Critical Thinking	Creative Innovation	Confidence
4	みんなで つくりあげる	話をつなげて 語る	熟達化	根拠づける	ヴィジョン	失敗する勇気 を持つ
3	あちこちで	対話する	知識のつながり	意見を持つ	声	リスクを 計算する
2	一緒に	見せて説明する	幅広く浅い理解	異なる真理	手段目標	自分の 立ち位置を知る
1	自分自身で	素の気持ちを表す	初期の学び / 特殊な状況	百聞は一見に 如かず	実験	やり抜く 信じ続ける

学校の「内」でも「外」でも  
子どもは 6Cs をプレイフルな学びを  
通じて身につけてゆく

PLAYFUL LEARNING

# 学びの場とは**考える力**を育む場

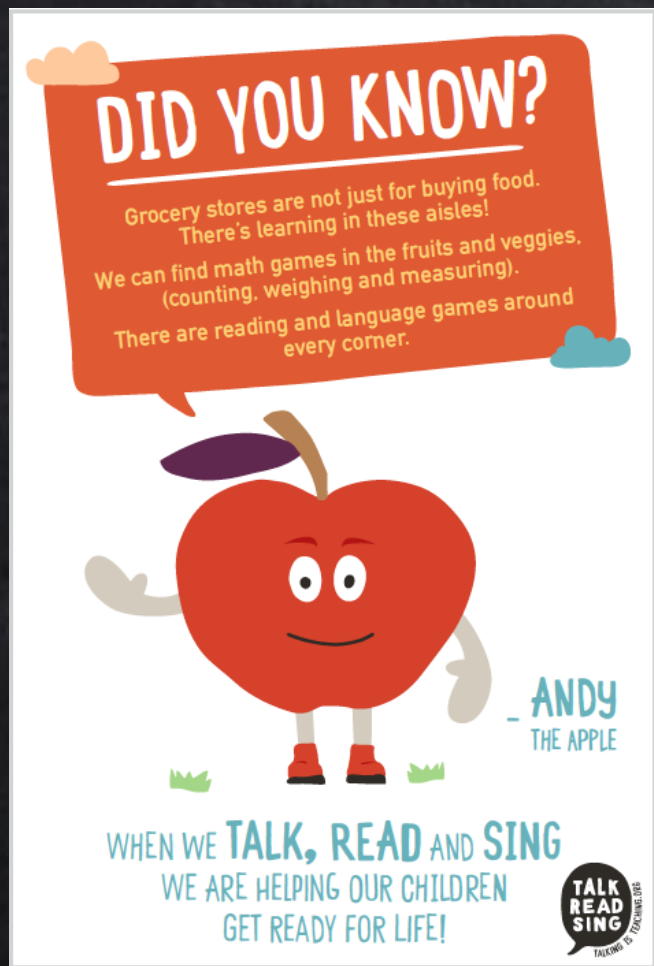


学びを提供する場は、教育機関限定ではない。

街でも、公園でも、店でも、

**「考える」スイッチを入れる仕掛け**はできる！

# ゲームの要素をサインに取り入れる



Adding games through signs in low-income neighborhoods increased adult language to children by 33%! (Ridge, Weisberg, Ilgaz, Hirsh-Pasek & Golinkoff, 2015)



# 究極のご近所パーティ！

2010年10月3日@NYセントラルパーク



The science of learning in action

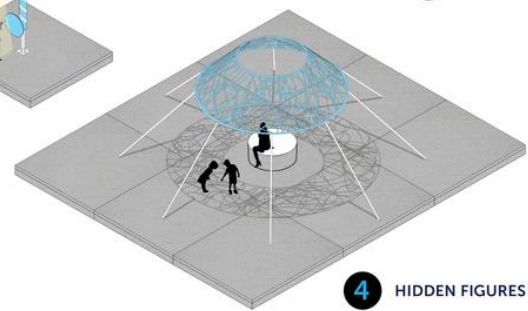
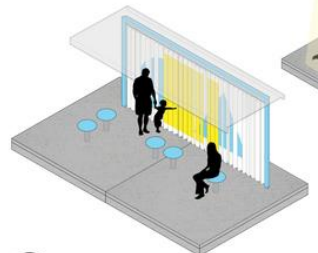
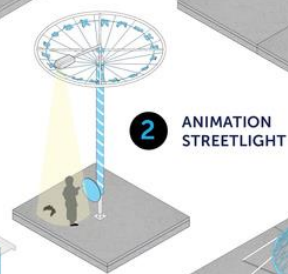
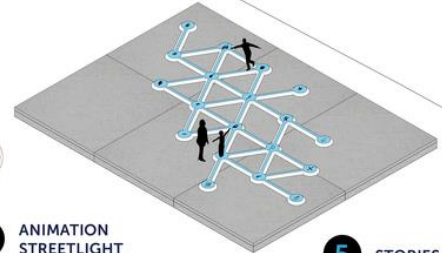
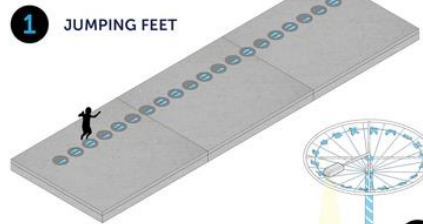
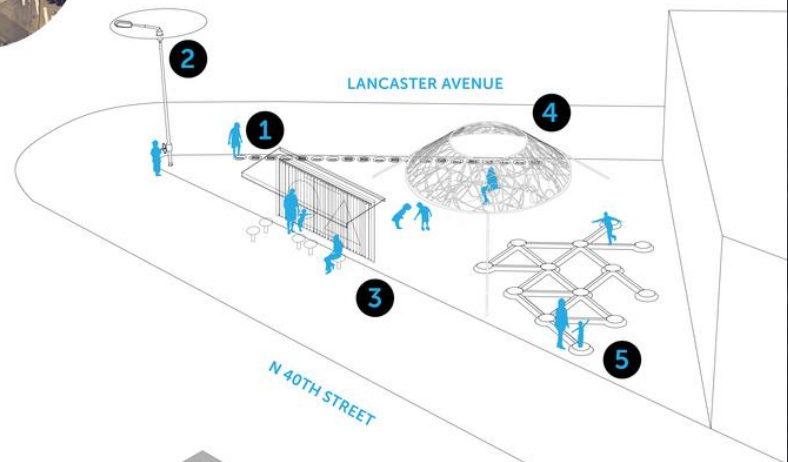
50000人超の来場者  
トロントやボルティモアなどの都市にリレー

街の一角を  
遊びと学びの発見の  
場にしてしまおう



# URBAN THINK SCAPE

PHILADELPHIA



# URBAN THINK SCAPE



F O R

広島



# 広島県への期待

保護者や保育者が、子どもが乳幼児期にしなければならないこと、学ばなければならないことを理解し、認識を変えるような働きかけをする。

「子ども」への「対話の質」は「大人」の「好奇心」との関数

だからこそ、これまでの大人が子どもを教えるという一方的な関係ではなく、**大人も子供も共に学べるような「仕掛け」づくり**をする。

ひいては広島から日本、世界中の学びに対する意識改革、価値向上へつながっていく。

広島県全体を**学び**の場にする！  
学校の「内」も「外」も！

**PLAYFUL LEARNING**

# 広島県生涯学習課の試み

## 生涯学習課、「指示より支持」の四コマ漫画

親子のコミュニケーション応援リーフレット

広島県教育委員会生涯学習課

### 指示より支持してみよう



お子さんが完璧に出来るように、あるいは早く終わらせてたくて、  
つい口や手を出してしまうことありませんか?  
そこをちょっと見守り、お子さんの考えでさせてみませんか?  
「やりきった」と自分で行動する楽しみが高まりますよ。

- Point1 困っている時は、「〇〇したらどうか」と、お子さんが自分で判断できるように働きかけるのもいいですね。
- Point2 頑張ったことはほめるといいですね。



あなたに役立つ情報をお届けしています。  
家庭教育支援のページ「親子コミニケーション」

[http://www.facebook.com/h\\_edu\\_kateikyoku](http://www.facebook.com/h_edu_kateikyoku)



# 本物の「学び」を取り戻す

日本では、受験勉強の影響で、親たちは塾や学校に学びを外注し、その責任を先生になすりつける傾向が強くなっています。さらに度が行き過ぎた親は「モンスターペアレント」となり、学校の先生たちを精神的にも肉体的にも疲弊させています。

日本版 The Ultimate Block Party は、この現状を打開し、**本来的な学びを家庭に**

その為に必要なのは、**親が学びを** 親が積極的に子供と一緒に学び、



Party は、この現状を打開し、**取り戻すための活動**です。

**楽しみ、親が自ら探究人になること**だと私たちは考えます。

それが、子供の学びへの意欲に火をつける方法の1つではないでしょうか。

週末に親子で「日本版 The Ultimate Block Party」に参加し、**探究するプロセスの中で、本当に大事な親子の会話が生まれ、新たな発見があり、それをさらに表現していく。**

そんな活動を仕掛けていきたい。  
そこから学びの革命を起こしていこうと考えています。

# 広島版

the  
ultimate  
BLOCK  
PARTY!

the arts and sciences of play

広島県から大人も子供も共に学べるような社会づくりを！

学びに対する意識改革、価値向上を行うべく、  
地元企業に対するエデュケーションを促し、  
コミュニティ全体で大人と子供が共に学べる先進県とする



まずは、プロトタイプ実施を計画中。  
慶應義塾大学 SFC Open Research Forum